# 中小企業景況情報

平成26年 7月~ 9月期実績 平成26年10月~ 12月期予想

富山県商工会連合会

# 中小企業景況状況 平成26年7月~9月期

富山県下商工会地区における中小企業の景気動向を定期的に把握し、業界に対する情報の提供並びに商工会が行う経営改善普及事業の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測調査を実施した。

# 「調 査 基 準]

- 1.調 査 方 法 商工会の経営指導員による訪問調査
- 2.調 查 時 点 平成26年9月1日
- 3.調査対象期間 平成26年7~9月期実績および平成26年10~12月期見通し
- 4.回答企業内訳および回答率

業種	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	地区	名
製造業	30	30	100%	朝日町 ・	入善町
建設業	20	20	100%	上市町 •	立山舟橋
小売業	40	40	100%	富山市南・	八尾山田
サービス業	60	60	100%	富山市北・	射水市
リーレク来	00	00	100%	高岡市 ・	小矢部市
合計	150	150	100%	庄川町 ·	南砺市

(注) 本調査でのD. Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目について、前年同期と比較して増加(上昇、好転)企業割合と減少(低下、悪化)企業割合の差を示すものである。

# 産業全体

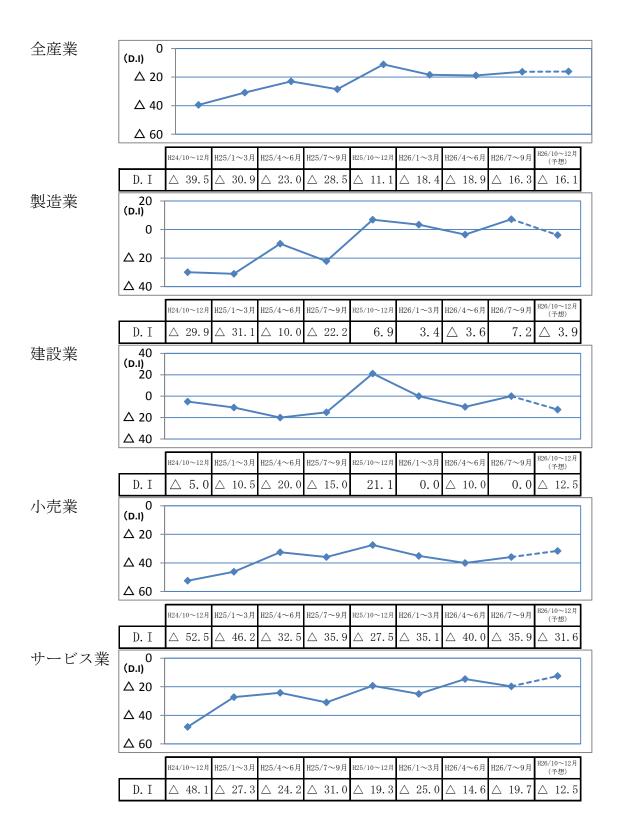
- ・ 業況判断D. Iは、前回調査(6月)比2.6ポイント好転し△16.3と なった。来期は0.2ポイント好転の△16.1を予想している。
- ・ 売上額D. Iは、前回調査比8. 3ポイント悪化し△24. 1となった。 来期は7. 4ポイント好転の△16. 7を予想している。
- ・ 採算D. Iは、前回調査比0.6ポイント悪化し $\triangle 22.8$ となった。来期は1.4ポイント悪化の $\triangle 24.2$ を予想している。
- ・ 資金繰りD. Iは、前回調査比4. 1ポイント好転し $\triangle$ 4. 1となった。 来期は0.7ポイント悪化の $\triangle$ 4. 8を予想している。

#### 1. 業況判断D・Iの推移(前年同期比)

# [前期比、製造業・建設業・小売業は好転、サービス業は悪化した]

今期は、製造業7.2(対前期比+10.8ポイント)、建設業0.0(同+10.0ポイント)、小売業 $\triangle$ 35.9(同+4.1ポイント)と好転を、サービス業 $\triangle$ 19.7(同-5.1 ポイント)は悪化した。

来期は、小売業 $\triangle$ 31.6(対当期比+4.3ポイント)、サービス業 $\triangle$ 12.5ポイント (同+7.2ポイント)と好転を、製造業 $\triangle$ 3.9 (同-11.1ポイント)、建設業 $\triangle$ 12.5 (同-12.5ポイント) は悪化を予想している。

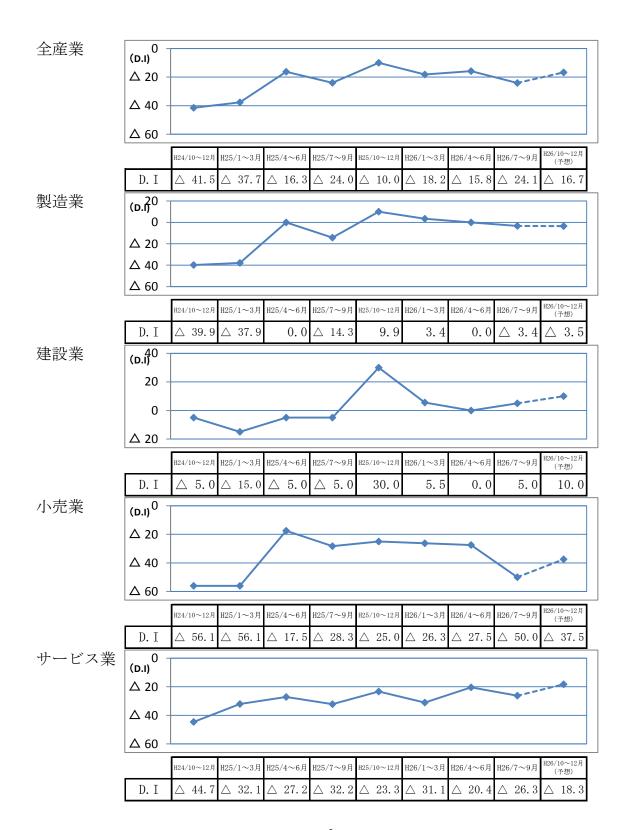


### 2. 売上額D・Iの推移(前年同期比)

# [前期比、建設業は好転、製造業・小売業・サービス業は悪化した]

今期は、建設業5.0 (対前期比+5.0ポイント) と好転を、製造業 $\triangle$ 3.4 (同-3.4ポイント)、小売業 $\triangle$ 50.0 (同-22.5ポイント)、サービス業 $\triangle$ 26.3 (同-5.9ポイント) は悪化した。

来期は、建設業10.0 (対当期比+5.0ポイント)、小売業 $\triangle$ 37.5 (同+12.5ポイント)、サービス業 $\triangle$ 18.3 (同+8.0ポイント)と好転を、製造業 $\triangle$ 3.5 (同-0.1 ポイント)は横這いを予想している。

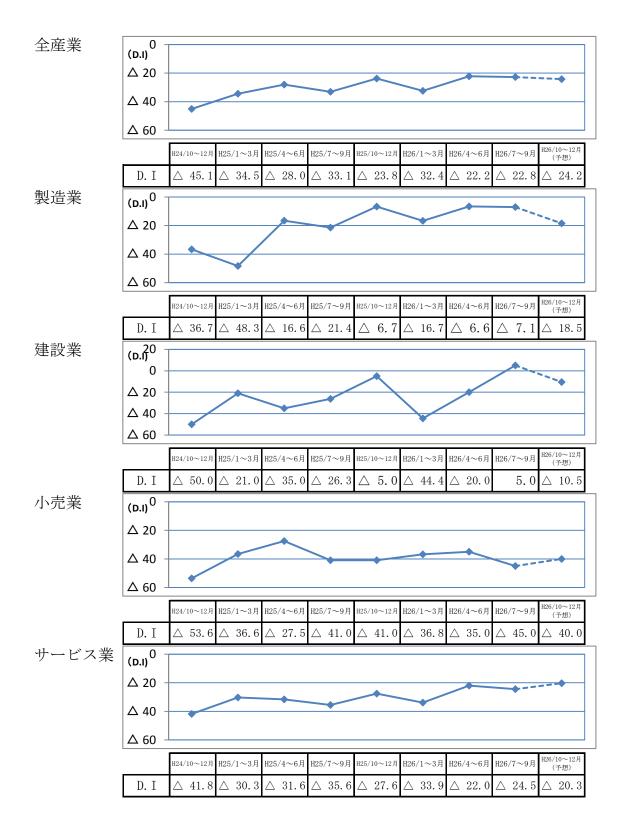


#### 3. 採算D・Iの推移(前年同期比)

#### [前期比、建設業は好転を、製造業・小売業・サービス業は悪化した]

今期は、建設業は5.0 (対前期比+25.0ポイント) と好転を、製造業 $\triangle$ 7.1 (同-0.5ポイント)、小売業 $\triangle$ 45.0 (同-10.0ポイント)、サービス業 $\triangle$ 24.5 (同-2.5ポイント) は悪化した。

来期は、小売業 $\triangle$ 40.0(対当期比+5.0ポイント)、サービス業 $\triangle$ 20.3(同+4.2ポイント)と好転を、製造業 $\triangle$ 18.5(同-11.4ポイント)、建設業 $\triangle$ 10.5(同-15.5ポイント)は悪化を予想している。

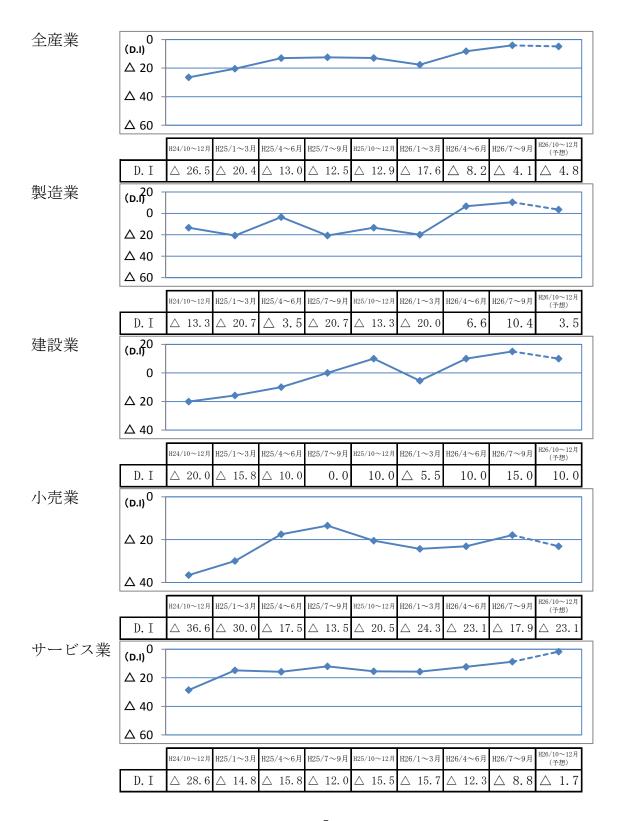


#### 4. 資金繰りD・Iの推移(前年同期比)

[前期比、製造業・建設業・小売業・サービス業の全業種で好転した]

今期は、製造業は10.4 (対前期比+3.8ポイント)、建設業15.0 (同+5.0ポイント)、小売業 $\triangle$ 17.9 (同+5.2ポイント)、サービス業 $\triangle$ 8.8 (同+3.5ポイント)と全ての業種で好転した。

来期は、サービス業 $\triangle$ 1.7(対当期比+7.1ポイント)と好転を、製造業3.5 (同-6.9ポイント)、建設業10.0(同-5.0ポイント)、小売業 $\triangle$ 23.1 (同-5.2 ポイント)は悪化を予想している。

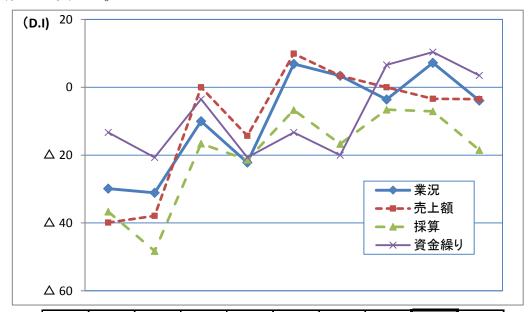


### 製造業

### 1. 主要景況項目の動向

業況D. Iは7. 2(前回調査比+10. 8ポイント)、売上額D. Iは $\triangle$ 3. 4(同-3. 4ポイント)、採算D. Iは $\triangle$ 7. 1(同-0. 5ポイント)、資金繰りD. Iは10. 4(同+3. 8ポイント)であった。来期は業況・売上額・採算・資金繰りD. Iすべての項目で悪化を予想している。

全国との比較では、今期富山県は業況・売上額・採算・資金繰りD. Iのすべての項目で上回った。



		H24/10~12月	H25/1~3月	H25/4~6月	H25/7~9月	H25/10~12月	H26/1~3月	H26/4~6月	H26/7~9月	H26/10~12月 (予想)
業況	好転	16. 7	10.3	16. 7	11. 1	20.7	26. 7	25.0	28.6	19. 2
	不変	36. 7	48.3	56.6	55.6	65. 5	50.0	46. 4	50.0	57. 7
	悪化	46.6	41.4	26.7	33. 3	13.8	23.3	28.6	21. 4	23. 1
	D. I	△ 29.9	△ 31.1	△ 10.0	△ 22.2	6. 9	3. 4	△ 3.6	7. 2	△ 3.9
	D. I (全国)	△ 28.4	△ 31.2	△ 22.6	△ 20.4	△ 12.1	△ 7.2	△ 10.6	△ 13.5	△ 13.6
売上額	好転	16. 7	13.8	35. 7	21.4	36. 6	31.0	25.0	34. 5	31.0
	不変	26. 7	34. 5	28.6	42. 9	36. 7	41.4	50.0	27.6	34. 5
	悪化	56.6	51. 7	35. 7	35. 7	26. 7	27.6	25.0	37. 9	34. 5
	D. I	△ 39.9	△ 37.9	0.0	△ 14.3	9. 9	3. 4	0.0	△ 3.4	△ 3.5
	D. I (全国)	△ 27.1	△ 31.7	△ 21.3	△ 16.3	△ 8.3	△ 0.3	△ 3.6	△ 7.4	△ 12.2
採算	好転	13. 3	6. 9	16. 7	10.7	20.0	13. 3	16. 7	25. 0	14.8
	不変	36. 7	37. 9	50.0	57. 2	53. 3	56. 7	60.0	42. 9	51. 9
	悪化	50.0	55. 2	33. 3	32. 1	26. 7	30.0	23.3	32. 1	33. 3
	D. I	△ 36.7	△ 48.3	△ 16.6	△ 21.4	△ 6.7	△ 16.7	△ 6.6	△ 7.1	△ 18.5
	D. I (全国)	△ 29.5	△ 34.3	△ 29.0	△ 25.0	△ 20.0	△ 16.6	△ 17.4	△ 19.6	△ 20.2
資金繰り	好転	10.0	6. 9	17. 2	3.4	6. 7	3. 3	23.3	20. 7	13.8
	不変	66. 7	65. 5	62. 1	72.5	73. 3	73. 4	60.0	69.0	75. 9
	悪化	23. 3	27.6	20.7	24. 1	20.0	23.3	16. 7	10. 3	10.3
	D. I	△ 13.3	△ 20.7	△ 3.5	△ 20.7	△ 13.3	△ 20.0	6.6	10. 4	3. 5
	D. I (全国)	△ 22.5	△ 25.9	△ 19.9	△ 17.2	△ 14.0	△ 13.0	△ 11.6	△ 13. 3	△ 13.9

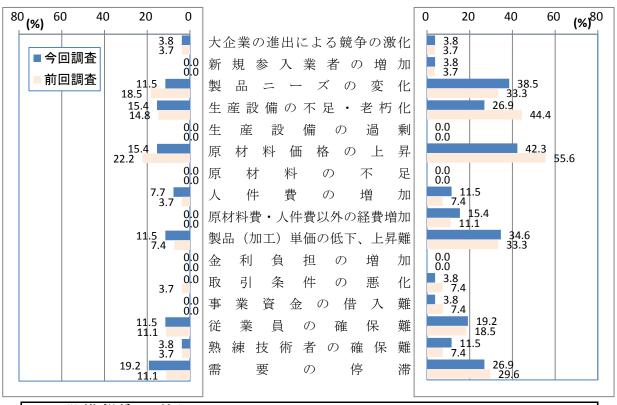
1位の問題点の上位は、①「需要の停滞」(19.2%)、②「生産設備の不足・老朽化」・「原材料価格の上昇」(15.4%)、③「製品ニーズの変化」・「製品(加工)単価の低下、上昇難」・「従業員の確保難」(11.5%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「原材料価格の上昇」(42.3%)、②「製品ニーズの変化」(38.5%)、③「製品(加工)単価の低下、上昇難」(34.6%)の順となった。

「原材料価格の上昇」が上位に定着している。

1位の問題点

経営上の問題点

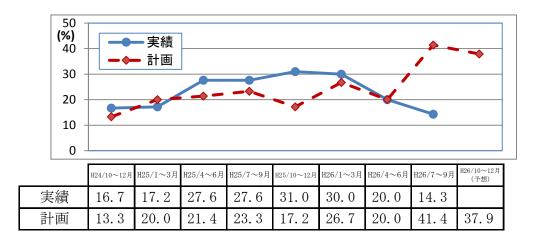
1~3位の問題点



## 3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比5.7ポイント減少し14.3%となった。 投資内容は生産設備や付帯施設、OA機器などとなっている。

来期計画は3.5ポイント減少し37.9%となっている。投資内容は生産設備や工場建物などとなっている。

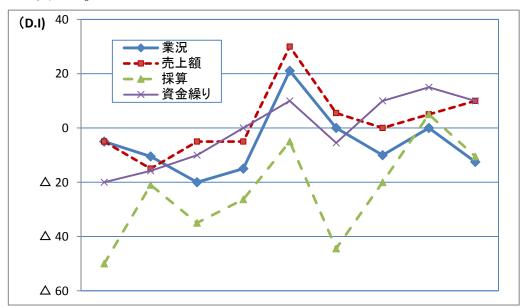


### 建設業

### 1. 主要景況項目の動向

業況D. Iは0.0(前回調査比+10.0ポイント)、売上額D. Iは5.0(同+5.0ポイント)、採算D. Iは5.0(同+5.0ポイント)、資金繰りD. Iは15.0(同+5.0ポイント)であった。来期は売上額D. Iは好転、業況・採算・資金繰りD. Iは悪化を予想している。

全国との比較では、今期富山県は業況・売上額・採算・資金繰りD. Iの全ての項目で上回った。



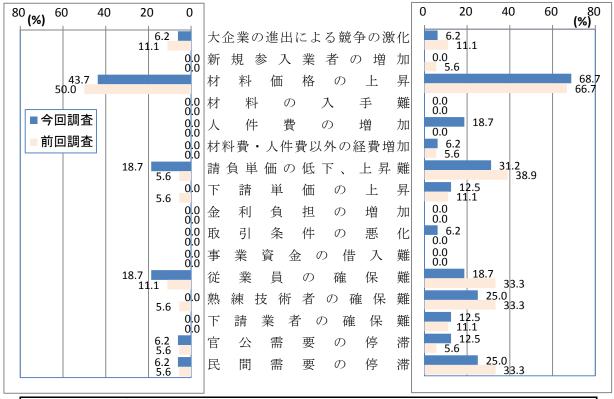
		H24/10~12月	H25/1~3月	H25/4~6月	H25/7~9月	H25/10~12月	H26/1~3月	H26/4~6月	H26/7~9月	H26/10~12月 (予想)
業況	好転	5. 0	15.8	15.0	20.0	31.6	27.8	15.0	5.6	0.0
	不変	85. 0	57. 9	50.0	45.0	57. 9	44. 4	60.0	88.8	87. 5
	悪化	10.0	26. 3	35.0	35.0	10.5	27.8	25.0	5.6	12.5
	D. I	△ 5.0	△ 10.5	△ 20.0	△ 15.0	21. 1	0.0	△ 10.0	0.0	△ 12.5
	D. I (全国)	△ 19.1	△ 17.4	△ 5.4	△ 6.3	1.8	6. 1	△ 1.5	△ 9.2	△ 13.2
売上額	好転	30.0	25.0	15.0	30.0	40.0	33. 3	31.6	25. 0	35.0
	不変	35. 0	35.0	65.0	35.0	50.0	38. 9	36.8	55. 0	40.0
	悪化	35. 0	40.0	20.0	35.0	10.0	27.8	31.6	20.0	25.0
	D. I	△ 5.0	△ 15.0	△ 5.0	△ 5.0	30.0	5. 5	0.0	5.0	10.0
	D. I (全国)	△ 13.1	△ 13.5	△ 3.5	△ 2.9	6.8	15. 2	0.4	△ 6.6	△ 14.2
採算	好転	0.0	5. 3	15.0	15.8	15. 0	0.0	15.0	25. 0	5. 3
	不変	50.0	68.4	35.0	42. 1	65.0	55.6	50.0	55. 0	78. 9
	悪化	50.0	26. 3	50.0	42. 1	20.0	44. 4	35.0	20.0	15.8
	D. I	△ 50.0	△ 21.0	△ 35.0	△ 26.3	△ 5.0	△ 44.4	△ 20.0	5.0	△ 10.5
	D. I (全国)	△ 26.2	△ 24.9	△ 18.3	△ 18.4	△ 12.5	△ 9.0	△ 13.1	△ 19.9	△ 20.8
資金繰り	好転	0.0	5. 3	5.0	15.0	15.0	5.6	20.0	25.0	20.0
	不変	80.0	73.6	80.0	70.0	80.0	83.3	70.0	65.0	70.0
	悪化	20.0	21. 1	15.0	15.0	5. 0	11. 1	10.0	10.0	10.0
	D. I	△ 20.0	△ 15.8	△ 10.0	0.0	10.0	△ 5.5	10.0	15. 0	10.0
	D. I (全国)	△ 15.5	△ 15.2	△ 7.8	△ 8.5	△ 5.0	△ 2.7	△ 1.6	△ 6.5	△ 11.1

1位の問題点の上位は、①「材料価格の上昇」(43.7%)、②「請負単価の低下、上昇難」・「従業員の確保難」(18.7%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「材料価格の上昇」(68.7%)、②「請負単価の低下、上昇難」(31.2%)、③「熟練技術者の確保難」・「民間需要の停滞」(25.0%)の順となった。

「材料価格の上昇」が上位に定着している。

 1位の問題点
 経営上の問題点

 1~3位の問題点



### 3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比4.7ポイント減少し5.3%となった。投資内容は車両・運搬具などとなっている。

来期計画は9.5ポイント減少し10.5%となっている。投資内容は建物、車両・ 運搬具、0A機器などとなっている。

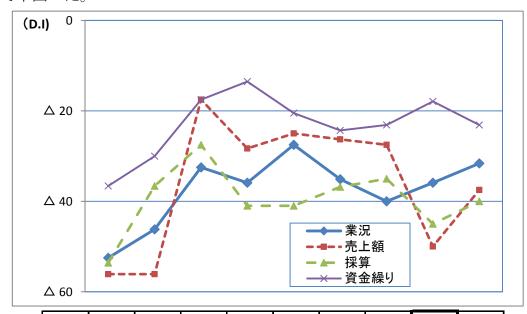


### 小 売 業

### 1. 主要景況項目の動向

業況D. Iは $\triangle$ 35. 9(前回調査比+4. 1ポイント)、売上額D. Iは $\triangle$ 50. 0(同-22. 5 ポイント)、採算D. Iは $\triangle$ 45. 0(同-10. 0ポイント)、資金繰りD. Iは $\triangle$ 17. 9(同+5. 2ポイント)であった。来期は業況・売上額・採算D. Iは好転、資金繰りD. Iは悪化を予想している。

全国との比較では、今期富山県は業況・資金繰りD. Iで上回り、売上額・採算D. Iで下回った。



		H24/10~12月	H25/1~3月	H25/4~6月	H25/7~9月	H25/10~12月	H26/1~3月	H26/4~6月	H26/7~9月	H26/10~12月 (予想)
業況	好転	5.0	5. 1	5.0	2.6	7. 5	2. 7	7. 5	7. 7	7. 9
	不変	37. 5	43.6	57. 5	58. 9	57. 5	59. 5	45.0	48. 7	52.6
	悪化	57. 5	51.3	37. 5	38. 5	35. 0	37.8	47.5	43.6	39. 5
	D. I	△ 52.5	△ 46.2	△ 32.5	△ 35.9	△ 27.5	△ 35.1	△ 40.0	△ 35.9	△ 31.6
	D. I (全国)	△ 42.5	△ 45.7	△ 34.7	△ 38.0	△ 36.7	△ 34.6	△ 38.7	△ 39.9	△ 36.0
売上額	好転	12. 2	7. 3	20.0	17. 9	15. 0	13. 2	17. 5	17. 5	12. 5
	不変	19. 5	29.3	42.5	35. 9	45. 0	47. 3	37. 5	15. 0	37. 5
	悪化	68.3	63.4	37. 5	46. 2	40.0	39. 5	45.0	67. 5	50.0
	D. I	△ 56.1	△ 56.1	△ 17.5	△ 28.3	△ 25.0	△ 26.3	△ 27.5	△ 50.0	△ 37.5
	D. I (全国)	△ 44.2	△ 45.2	△ 33.7	△ 35.5	△ 35.3	△ 31.3	△ 37.1	△ 39.9	△ 38.5
採算	好転	4. 9	4. 9	12.5	2.6	0.0	5. 3	10.0	5.0	5.0
	不変	36. 6	53.6	47.5	53.8	59. 0	52. 6	45.0	45.0	50.0
	悪化	58. 5	41.5	40.0	43.6	41.0	42. 1	45.0	50.0	45.0
	D. I	△ 53.6	△ 36.6	△ 27.5	△ 41.0	△ 41.0	△ 36.8	△ 35.0	△ 45.0	△ 40.0
	D. I (全国)	△ 41.6	△ 44.0	△ 34.2	△ 39.1	△ 37.6	△ 36.1	△ 40.3	△ 43.3	△ 40.0
資金繰り	好転	2. 4	0.0	5.0	2.7	0.0	2. 7	7. 7	10.3	7. 7
	不変	58.6	70.0	72.5	81.1	79. 5	70.3	61.5	61.5	61.5
	悪化	39. 0	30.0	22.5	16. 2	20. 5	27. 0	30.8	28. 2	30.8
	D. I	△ 36.6	△ 30.0	△ 17.5	△ 13.5	△ 20.5	△ 24.3	△ 23.1	△ 17.9	△ 23.1
	D. I (全国)	△ 30.7	△ 32.9	△ 24.1	△ 26.5	△ 26.2	△ 27.2	△ 25.2	△ 25.7	△ 26.2

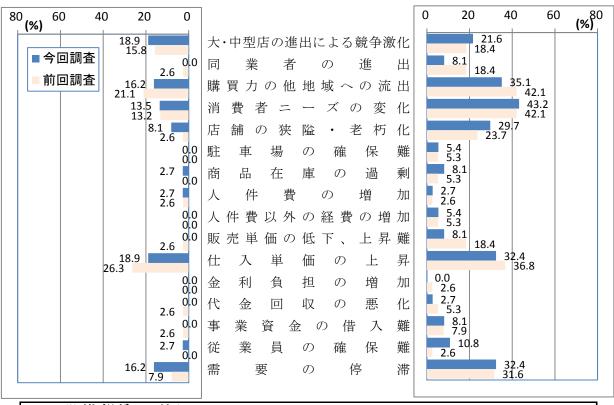
1 位の問題点の上位は、①「大・中型店の進出による競争激化」・「仕入単価の上昇」(18.9%)、②「購買力の他地域への流出」・「需要の停滞」(16.2%)、③「消費者ニーズの変化」(13.5%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「消費者ニーズの変化」(43.2%)、②「購買力の他地域への流出」(35.1%)、③「仕入単価の上昇」・「需要の停滞」(32.4%)の順となった。

「仕入単価の上昇」・「購買力の他地域への流出」が上位に定着している。

1位の問題点

経営上の問題点

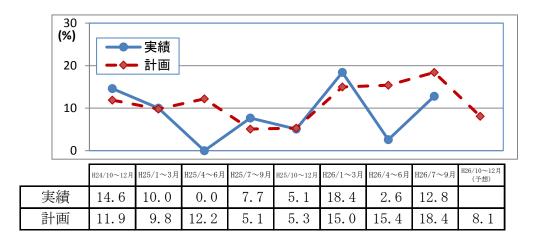
1~3位の問題点



# 3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比10.2ポイント増加し12.8%となった。 投資内容は車両・運搬具、販売設備、付帯施設となっている。

来期計画は10.3ポイント減少し8.1%となっている。投資内容は店舗や0A機器などとなっている。

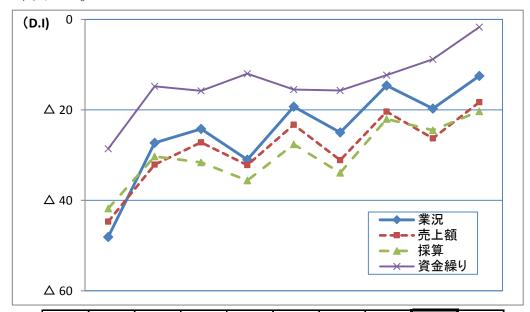


### サービス業

### 1. 主要景況項目の動向

業況D. Iは $\triangle$ 19. 7(前回調査比-5. 1ポイント)、売上額D. Iは $\triangle$ 26. 3(同-5. 9 ポイント)、採算D. Iは $\triangle$ 24. 5(同-2. 5ポイント)、資金繰りD. Iは $\triangle$ 8. 8(同+3. 5ポイント)であった。来期は業況・売上額・採算・資金繰りD. Iの全ての項目で好転を予想している。

全国との比較では、今期富山県は業況・採算・資金繰りD. Iで上回り、売上額D. Iで下回った。



		H24/10~12月	H25/1~3月	H25/4~6月	H25/7~9月	H25/10~12月	H26/1~3月	H26/4~6月	H26/7~9月	H26/10~12月 (予想)
業況	好転	1. 9	9. 1	8.6	5. 2	3. 5	8.9	14. 5	10. 7	14. 3
	不変	48. 1	54. 5	58.6	58.6	73. 7	57. 2	56. 4	58. 9	58. 9
	悪化	50.0	36. 4	32.8	36. 2	22.8	33. 9	29. 1	30. 4	26.8
	D. I	△ 48.1	△ 27.3	△ 24.2	△ 31.0	△ 19.3	△ 25.0	△ 14.6	△ 19.7	△ 12.5
	D. I (全国)	△ 33.5	△ 31.0	△ 22.9	△ 23.6	△ 28.3	△ 28.8	△ 24.7	△ 27.5	△ 24.4
売上額	好転	7. 1	14. 3	16. 9	10.2	16. 7	15. 5	20.3	26. 3	25.0
	不変	41. 1	39. 3	39.0	47.4	43. 3	37. 9	39. 0	21. 1	31. 7
	悪化	51.8	46. 4	44. 1	42.4	40.0	46.6	40.7	52.6	43. 3
	D. I	△ 44.7	△ 32.1	△ 27.2	△ 32.2	△ 23.3	△ 31.1	△ 20.4	△ 26.3	△ 18.3
	D. I (全国)	△ 33.5	△ 32.3	△ 22.7	△ 22.9	△ 27.1	△ 28.3	△ 20.2	△ 24.4	△ 24.1
採算	好転	5. 5	5. 4	6. 7	3.4	8.6	3.6	8.5	8.8	15. 3
	不変	47. 2	58. 9	55.0	57.6	55. 2	58. 9	61.0	57. 9	49. 1
	悪化	47. 3	35. 7	38.3	39.0	36. 2	37. 5	30.5	33. 3	35. 6
	D. I	△ 41.8	△ 30.3	△ 31.6	△ 35.6	△ 27.6	△ 33.9	△ 22.0	△ 24.5	△ 20.3
	D. I (全国)	△ 33.9	△ 34.1	△ 27.1	△ 28.9	△ 32.4	△ 33.9	△ 29.5	△ 31.9	△ 29.2
資金繰り	好転	1.8	3. 7	0.0	5.2	0.0	1.8	7.0	7.0	11. 9
	不変	67.8	77.8	84.2	77.6	84. 5	80.7	73. 7	77. 2	74. 5
	悪化	30. 4	18.5	15.8	17. 2	15. 5	17.5	19.3	15.8	13. 6
	D. I	△ 28.6	△ 14.8	△ 15.8	△ 12.0	△ 15.5	△ 15.7	△ 12.3	△ 8.8	△ 1.7
	D. I (全国)	△ 23.1	△ 23.9	△ 18.1	△ 17.8	△ 20.7	△ 22.5	△ 17.6	△ 17.0	△ 17.8

1位の問題点の上位は、①「利用者ニーズの変化」・「材料等仕入単価の上昇」・「需要の停滞」(14.5%)、②「人件費以外の経費の増加」(12.7%)、③「新規参入業者の増加」(10.9%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「利用者ニーズの変化」(45.5%)、②「材料等仕入単価の上昇」(38.2%)、③「需要の停滞」(32.7%)の順となった。「利用者ニーズの変化」が上位に定着している。

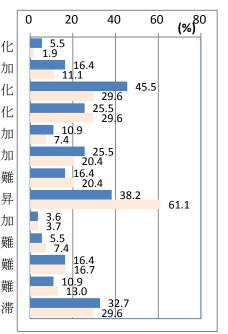
1位の問題点

経営上の問題点

1~3位の問題点



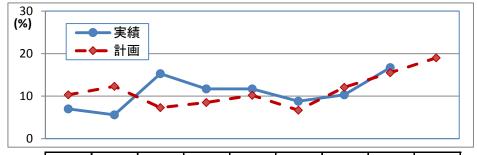
大企業の進出による競争の激化 新規参入業者の増加 利用者ニーズの変化 店舗施設の狭隘・老朽化 人 費  $\mathcal{O}$ 増 加 件 人件費以外の経費の増加 利用料金の低下、上昇難 材料等仕入単価の上昇 利 負 担  $\mathcal{O}$ 増 加 事 業資金の 借 難 入 業 員 保 従  $\mathcal{O}$ 確 熟練従業員の確保 難 需  $\mathcal{O}$ 停



# 3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比6.4ポイント増加し16.7%となった。 投資内容は付帯施設、サービス設備、車両・運搬具、OA機器などとなってい る。

来期計画は3.5ポイント増加し19.0%となっている。投資内容は建物、サービス設備、車両・運搬具などとなっている。



	H24/10~12月	H25/1~3月	H25/4~6月	H25/7~9月	H25/10~12月	H26/1~3月	H26/4~6月	H26/7~9月	H26/10~12月 (予想)
実績	7.0	5. 6	15. 3	11.7	11. 7	8.8	10.3	16. 7	
計画	10.3	12.3	7.3	8.5	10.2	6. 7	12. 1	15. 5	19.0